

令和4年度 県民表彰受賞者一覧

部門	氏名	年齢	主要経歴等	現住所
地方自治	もり ひろゆき 森 博幸	73	前 鹿児島市長 元 全国市長会副会長 前 鹿児島県市長会会長	鹿児島市
教育文化スポーツ	はらぐち いずみ 原口 泉	75	前 鹿児島県文化財保護審議会会長 現 志学館大学人間関係学部兼法学部 教授	鹿児島市
保健福祉	よねやま あきのり 米山 昭規	82	元 民生委員・児童委員 元 全国民生委員児童委員連合会副会長 元 鹿児島県民生委員児童委員協議会会長	鹿児島市
産業経済	ほりぐち やすひさ 堀口 泰久	74	元 鹿児島県農業経営者クラブ会長 現 鹿児島堀口製茶(有)代表取締役	志布志市
社会活動	ゆみば あきのぶ 弓場 秋信	74	現 鹿児島県青年海外協力隊を支援 する会理事兼事務局長 現 弓場貿易(株)代表取締役	鹿児島市
くらし・環境	とよしま しのぶ 豊島 忍	74	元 鹿児島県公安委員会委員長 現 医療法人敬親会豊島病院 理事長兼院長	鹿児島市

※年齢は令和4年11月2日現在

※令和4年度県民表彰式開催日時

11月2日(水) 午前11時～ 議会庁舎6階本会議場

森 博幸 氏 (満73歳/鹿児島市)

● 主な経歴

時 期	経 歴
昭和49年4月～平成16年8月	鹿児島市事務吏員
平成16年12月～令和2年12月	鹿児島市長
平成16年12月～令和2年12月	全国市長会都市税制調査委員会委員
平成16年12月～令和2年12月	公益社団法人日本水道協会鹿児島県支部支部長
平成23年2月～令和2年12月	一般財団法人全国市町村振興協会助成金審議委員会委員
平成24年4月～令和3年4月	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事長
平成25年4月～令和3年6月	公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会理事長
平成26年2月～令和元年9月	税制調査会特別委員
令和2年1月～令和2年12月	同上
平成17年1月～令和2年12月	鹿児島県市長会会長
平成21年7月～令和2年12月	全国市長会港湾都市協議会副会長
平成23年7月～令和2年12月	鹿児島県下水道協会会長
平成22年6月～平成23年6月	全国市長会副会長
平成23年6月～令和2年12月	全国市長会相談役
平成30年6月～令和元年6月	全国市長会副会長
平成27年5月～令和2年12月	九州市長会会長
平成20年7月～令和2年12月	道路整備促進期成同盟会全国協議会鹿児島県地方連絡協議会会長
平成27年5月～平成29年5月	九州国道協会会長
平成21年5月～平成28年5月	道路整備促進期成同盟会全国協議会理事
平成28年5月～令和2年12月	道路整備促進期成同盟会全国協議会常任理事
平成27年7月～令和元年7月	鹿児島県港湾協会会長
平成30年3月～平成30年7月	全国水環境保全市町村連絡協議会幹事
平成30年7月～令和元年10月	全国水環境保全市町村連絡協議会会長
令和2年1月～令和2年7月	全国水環境保全市町村連絡協議会幹事
平成23年4月～現在	公益財団法人かごしま教育文化振興財団理事長
平成26年4月～令和2年5月	公益財団法人鹿児島市国際交流財団理事長
令和2年12月～現在	公益財団法人鹿児島市国際交流財団名誉顧問
平成26年4月～令和2年5月	公益財団法人かごしま環境未来財団理事長
令和2年12月～現在	公益財団法人かごしま環境未来財団名誉顧問

● 主な受賞歴

時 期	受 賞 歴
令和元年7月	国土交通大臣表彰 (建設事業関係功労)
令和3年11月	旭日中綬章 (地方自治功労)

● 主な功績

〈概要〉

- ・ 昭和49年4月に鹿児島市に奉職され、総務局長を最後に、平成16年12月、多くの市民の信任を得て、鹿児島市長に就任した。
以来、4期16年もの長きにわたり、卓越した識見と指導力をもって、市勢の発展及び住民福祉の向上に大きく貢献。
- ・ 住民自治の原則に立ち、「市民が主役の鹿児島市の実現」を基本理念としつつ、自ら各地に赴き、当地の市民と対話する「市長とふれあいトーク」を重視し、積極的に開催したほか、市民をはじめNPOや企業など多様な主体との連携・協働を推進するなど、市民目線による施策展開及び官民一体となった市政運営に尽力。
- ・ 就任直前（平成16年11月）に誕生した周辺5町との合併による新たな鹿児島市の舵取り役として、豊富な地域資源を活用した多彩な事業の実施や市民の相互交流の促進等に努めるとともに、市民福祉の増進及び社会基盤施設の着実な整備等に取り組み、新市全域の一体性の確保及び均衡ある発展に尽力。

〈個別〉

- ・ 市長在任中に迎えた九州新幹線の全線開業や「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録、明治維新150周年などの幾多の大きな節目においては、それぞれの効果を最大限発現させるため、積極的な情報発信に努めるとともに、観光客の受入環境の整備等に取り組み、地域の振興・経済活性化等に尽力。
- ・ セーフコミュニティの国際認証の取得や桜島の大規模噴火に備えた全島避難計画の策定、県との連携による「国際交流センター」の整備、アジア都市景観賞にも輝いた鹿児島市電軌道敷の緑化の推進、環境学習・環境保全活動の拠点施設「かごしま環境未来館」及びすこやか子育て交流館「りぼんかん」の整備、さらには、「かごしまアジア青少年芸術祭」や観光関係者等の長年の念願であった「鹿児島マラソン」の開催などに取り組み、世界基準の安心・安全都市の形成を図るとともに、地球環境にやさしく、人が行き交う魅力と賑わいに溢れるまちづくりに努め、同市を県都としてのみならず、南九州の中核都市としての着実な発展に尽力。
- ・ 「鹿児島県市長会」会長や「九州市長会」会長、「全国市長会」副会長をはじめ、「内閣府税制調査会」特別委員等の要職を歴任し、県内はもとより全国の市町村を代表して大所高所から地方の声を中央に届け、地方分権や円滑な都市行政の推進に貢献。

原口 泉 氏（満75歳／鹿児島市）

● 主な経歴

時 期	経 歴
昭和54年4月～昭和55年3月	鹿児島大学法文学部助手
昭和55年4月～昭和56年6月	鹿児島大学法文学部講師
昭和56年7月～平成10年10月	鹿児島大学法文学部助教授
平成10年11月～平成23年3月	鹿児島大学法文学部教授
平成23年4月～現在	鹿児島大学名誉教授
平成23年4月～現在	志學館大学人間関係学部兼法学部教授
平成2年5月～令和4年5月	鹿児島県文化財保護審議会委員
平成24年5月～令和4年5月	鹿児島県文化財保護審議会会長
平成6年1月～平成29年8月	公益財団法人鹿児島県文化振興財団評議員
平成29年8月～現在	公益財団法人鹿児島県文化振興財団理事
平成24年1月～平成28年3月	「第30回国民文化祭・かごしま2015」基本構想検討委員会委員
平成24年4月～令和3年3月	鹿児島県立図書館長
平成24年4月～令和3年3月	鹿児島県図書館協会会長
平成24年7月～平成28年3月	「第30回国民文化祭・かごしま2015」鹿児島県実行委員会委員
平成24年8月～平成28年3月	「第30回国民文化祭・かごしま2015」鹿児島県実行委員会企画委員会委員長
平成27年3月～令和3年3月	鶴丸城御楼門建設に係る専門家委員会委員
平成27年8月～現在	鶴丸城跡保全整備に係る専門家検討会委員
平成29年6月～現在	鹿児島県文化協会会長
平成29年6月～現在	鹿児島県文化芸術振興審議会委員
平成29年6月～現在	鹿児島県文化芸術振興審議会副会長
平成21年7月～現在	鹿児島県観光立県推進会議委員
平成22年12月～現在	奄美群島新ビジョン懇話会座長
平成22年12月～平成30年12月	奄美群島振興開発審議会委員
平成24年1月～平成30年12月	奄美群島振興開発審議会会長

● 主な受賞歴

時 期	受 賞 歴
平成24年11月	鹿児島県文化財功労者表彰
平成25年10月	文部科学大臣表彰（地域文化功労）
平成29年10月	MBC賞
平成30年3月	日本放送協会放送文化賞
令和元年11月	西日本文化賞

● 主な功績

〈概要〉

- ・ 鹿児島大学及び志學館大学の教員として長きにわたり日本近世史・近代史を専門に研究するとともに、「鹿児島県文化財保護審議会」会長等の要職を歴任するなど、本県の歴史研究・教育並びに文化財保護に大きく貢献。

〈個別〉

- ・ 昭和54年4月に鹿児島大学法文学部人文学科に着任し、平成23年4月から同大名誉教授として、また、志學館大学人間関係学部兼法学部教授として現在まで教鞭を執っており、常に現場において歴史研究及び高等教育を実践。

- ・ 専門とする研究分野は、日本近世史・近代史の中でも、特に薩摩藩及び南九州と、奄美、沖縄（琉球）及び東南アジア諸地域との関係性から広がる歴史であり、NHK大河ドラマの「翔ぶが如く」等の時代考証に携わるなど、本県の歴史・文化の継承及び発信に尽力。

さらに、全国的・国際的視点から様々な講演活動を精力的に展開し、本県の歴史・文化の魅力や特色を国内外に説き、本県の認知度向上及びイメージアップに大きく貢献。

- ・ 32年もの長きにわたり、「鹿児島県文化財保護審議会（史跡・埋蔵文化財部門）」の委員として、県内の有形文化財（考古資料等）や史跡の調査・研究に尽力。特に、同審議会会長の職にあった平成24年5月から令和4年5月までの間、86件もの文化財の県指定や国指定に関わり、考古資料や史跡等の文化財保護に係る先導的な役割に注力。

- ・ 皇太子殿下並びに妃殿下の御臨席を仰ぎ開催された「第30回国民文化祭・かごしま2015」においては、「鹿児島県実行委員会企画委員会」委員長として大会の成功に大きく貢献するなど本県の文化芸術の振興・発展にも尽力。

米山 昭規 氏（満82歳／鹿児島市）

● 主な経歴

時 期	経 歴
平成8年8月～令和28年11月	民生委員・児童委員
平成13年12月～平成28年11月	鹿児島市武岡地区民生委員児童委員協議会会長
平成19年12月～平成28年11月	鹿児島市民生委員児童委員協議会会長
平成19年12月～平成28年11月	鹿児島市民生安定資金貸付審査会会長
平成19年12月～平成28年11月	鹿児島市安心安全まちづくり推進会議委員
平成20年1月～平成28年11月	鹿児島県民生委員児童委員協議会会長
平成20年5月～平成29年6月	鹿児島県社会福祉協議会副会長
平成20年6月～平成28年11月	鹿児島市社会福祉協議会副会長
平成20年6月～平成29年6月	生活福祉資金貸付審査等運営委員会委員長
平成26年2月～平成28年11月	全国民生委員児童委員連合会副会長

● 主な受賞歴

時 期	受 賞 歴
平成18年11月	鹿児島市長表彰（民生委員永年勤続）
平成22年10月	鹿児島県社会福祉協議会会長表彰（民生委員永年勤続）
平成23年5月	九州社会福祉協議会連合会会長表彰
平成25年11月	全国社会福祉協議会会長表彰（民生委員児童委員功労）
平成29年11月	鹿児島市民表彰
平成29年11月	藍綬褒章（社会福祉功労）
平成29年11月	総務大臣表彰（地方公共功労）

● 主な功績

〈概要〉

- 平成8年から平成28年まで20年の長きにわたり，民生委員・児童委員として社会福祉の精神に徹し，援助を必要とする住民に寄り添い，民生の安定及び地域住民の福祉の増進に貢献。
- 常に地域の実情を客観的・総合的に把握し，細やかな配慮をもって地域に密着した活動を展開するとともに，行政や関係団体等と密接に連携しながら，住民支援の舵取りに尽力。

〈個別〉

- 「鹿児島県民生委員児童委員協議会」会長在任中には，誰もが住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができる社会づくりを目指し，地域コミュニティによる支え合いの仕組みづくりに取り組み，平成23年12月，同協議会，鹿児島県及び南日本新聞社の3者による「地域の見守り活動に関する協定」の締結を実現。
- 「全国民生委員児童委員連合会」副会長在任中，平成29年の「民生委員制度創設100周年記念全国民生委員児童委員大会」の開催に当たっては，本県のみならず全国の民生委員と密接に連携しながら着実な準備に努め，節目の大会を成功に導いたほか，民生委員・児童委員の地位向上及び後進の育成等にも尽力。
- 平成27年，口永良部島が噴火した際には，いち早く屋久島を訪れ，現地委員の激励を行なうとともに，募金活動にも注力。

堀口 泰久 氏 (満74歳/志布志市)

● 主な経歴

時 期	経 歴
昭和42年4月～現在	農業（茶業経営）
平成元年4月～現在	鹿児島堀口製茶有限会社代表取締役社長
平成元年4月～平成30年6月	株式会社和香園代表取締役社長
平成30年7月～現在	株式会社和香園代表取締役会長
平成7年3月～現在	鹿児島県指導農業士
平成9年4月～平成30年3月	鹿児島県普及指導協力委員
平成7年2月～平成9年2月	鹿児島県農業経営者クラブ副会長
平成9年2月～平成27年2月	鹿児島県農業経営者クラブ会長
平成11年1月～平成18年4月	有明町茶業振興会会長
平成18年5月～平成19年12月	志布志市茶業振興会副会長
平成20年1月～平成28年12月	志布志市茶業振興会会長
平成11年4月～平成25年1月	社団法人鹿児島県茶生産協会理事
平成25年1月～平成25年2月	一般社団法人鹿児島県茶生産協会理事
平成25年2月～平成27年2月	一般社団法人鹿児島県茶生産協会副会長
平成27年2月～平成29年2月	一般社団法人鹿児島県茶生産協会理事

● 主な受賞歴

時 期	受 賞 歴
平成6年11月	鹿児島県茶経営改善コンクール農林水産大臣賞
平成9年7月	全国農業コンクール（経営）農林水産大臣賞
平成13年11月	全国茶品評会全国茶業中央会長賞
平成19年7月	南日本経済賞
平成21年3月	九州IT経営力特別賞（九州経済産業局）
平成28年11月	第100回農事功績表彰緑白綬有功章
平成31年3月	6次産業化優良事例表彰（食料産業局長賞）
平成31年3月	農林水産大臣表彰（輸出に取り組む優良事業者）
令和元年5月	旭日単光章（農産物加工業振興功労）
令和3年11月	全国茶業功労者表彰

● 主な功績

〈概要〉

- ・ 昭和42年に就農して以来、茶業に精励しながら、長年にわたり「鹿児島県農業経営者クラブ」会長をはじめ、「志布志市茶業振興会」会長や「一般社団法人鹿児島県茶生産協会」副会長などの要職を務め、卓越した識見と指導力をもって本県茶業の振興及び農家経営の改善に大きく貢献。
- ・ 県指導農業士，県普及指導協力委員として，長年にわたり地域の就農相談，青年指導などに取り組み，本県農業・農村の振興に尽力。

〈個別〉

- ・ 茶の栽培から荒茶製造，製品販売に至るまで一貫した茶業経営を展開するとともに，ポット育苗・機械移植技術や製茶機自動システムをはじめ，乗用型摘採機や防霜用スプリンクラーなどの大型機械の導入や，節水に資する間断散水に取り組み，茶園の規模拡大並びに労働時間及びコスト削減による経営の安定化に成功し，全国最大級の茶業経営を実現。
- ・ 設備投資に慎重な高齢農家等から荒茶加工を受託するとともに，周辺住民を積極的に雇用するなど，地域と一体となった茶業経営に取り組み，地域経済の発展にも大きく貢献。
- ・ 地域ぐるみで茶害虫の天敵を最大限活用したIPM技術の普及に努めたほか，蒸気除草機や畑かん施設を活用した0℃節水防霜技術の実証・導入を図り，農薬の削減や節水を可能とするなど，環境にやさしい茶業経営に注力。
- ・ 大型農業経営者のリーダーとして，本県農業の持続的発展を支える担い手農家の育成や新たな農業技術・経営の研究及び地域への展開などの実践活動に取り組みとともに，本県茶業のみならず農業全体の振興・発展に尽力。
- ・ 食品安全の国際規格であるFSSC22000を取得したほか，自然と健康をコンセプトとした「TEAET（ティーエット）」ブランドを立ち上げるとともに，食べる茶の文化を提案するため茶葉創作料理店「茶音の蔵」を開店するなど，海外を含め販路の開拓，拡大を推進。

弓場 秋信 氏 (満74歳/鹿児島市)

● 主な経歴

時 期	経 歴
昭和47年 9月～昭和49年12月	日本青年海外協力隊入隊 (マレーシア派遣)
昭和57年 5月～平成 4年 5月	青年海外協力隊鹿児島県OB会会長
平成 4年 5月～現在	青年海外協力隊鹿児島県OB会顧問
昭和63年10月～現在	鹿児島県青年海外協力隊を支援する会理事 (平成 4年 9月～事務局長を兼任)
平成 3年10月～平成31年 3月	独立行政法人国際協力機構 (JICA) 青年海外協力隊進路相談 カウンセラー
平成 2年 5月～現在	鹿児島県青少年国際協力体験事業実行委員会会長
平成 9年 9月～現在	いっしょき学校を作いもんそ会会長
平成11年 8月～現在	一般財団法人鹿児島県国際交流協会評議員 (平成24年 4月～公益財団法人鹿児島県国際交流協会)
平成12年 6月～現在	鹿児島県マレーシア友好協会会長
平成16年10月～平成22年 5月	特定非営利活動法人九州海外協力協会理事
平成22年 5月～平成26年 5月	特定非営利活動法人九州海外協力協会副会長
平成26年 5月～現在	特定非営利活動法人九州海外協力協会会長
平成26年 4月～現在	一般財団法人鹿児島市国際交流財団理事 (平成27年 4月～公益財団法人鹿児島市国際交流財団)
昭和56年 5月～現在	弓場貿易 代表 (昭和60年 2月～弓場貿易株式会社 代表取締役)
昭和58年 6月～平成25年 5月	社団法人鹿児島県貿易協会理事 (平成24年 4月～公益社団法人鹿児島県貿易協会)
平成25年 5月～現在	公益社団法人鹿児島県貿易協会副会長
平成29年 6月～現在	独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO) 鹿児島貿易情 報センター会長
平成22年 5月～平成26年 5月	公益社団法人鹿児島県工業倶楽部理事
平成26年 5月～現在	公益社団法人鹿児島県工業倶楽部副会長
平成 9年 5月～令和 3年 5月	鹿児島総合卸団地協同組合理事
令和 3年 5月～現在	鹿児島総合卸団地協同組合副理事長

● 主な受賞歴

時 期	受 賞 歴
平成20年 9月	国際協力機構 (JICA) 理事長表彰
平成24年11月	南日本文化賞 (社会教育部門)
平成30年 4月	旭日双光章 (貿易振興功労)
平成30年 7月	外務大臣表彰 (技術協力分野における国際協力の推進)
平成31年 3月	西日本財団アジア貢献賞創設20周年記念特別賞

● 主な功績

〈概要〉

- ・ 貿易業に精励しながら、「鹿児島県青年海外協力隊を支援する会」理事兼事務局長や「公益財団法人鹿児島県国際交流協会評議員を歴任するなど、長年にわたり本県の国際貢献及び国際交流の拡大、並びに産業振興に大きく貢献。

〈個別〉

- ・ 昭和47年から2年間のマレーシアにおける青年海外協力隊員としての貴重な経験を県内各地に発信するとともに、自らの体験を多くの地域住民と分かち合い、地球に生きる仲間として率先して国際協力を志す地域住民を育てる社会環境の整備に取り組むため、昭和63年10月、「鹿児島県青年海外協力隊を支援する会」を設立し、現在に至るまで約30年もの長きにわたり、その運営に尽力。
- ・ 独立行政法人国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊進路相談カウンセラーとしても活躍し、青年海外協力隊に派遣されている本県出身者に対する物心両面にわたる支援をはじめ、帰国後の進路相談やカウンセリング、就職支援、留守家族への寄り添いなど、青年海外協力隊員及びその留守家族に対する様々な支援に注力。
- ・ 青年海外協力隊に対する県民理解の醸成を図るため、講演会や小・中学校における隊員OB等による国際協力に関する授業、青年海外協力隊の活動現場への青少年の派遣など、各般の取組を継続的かつ積極的に推進。
- ・ 「鹿児島県青少年国際協力体験事業実行委員会」会長を務め、国際性豊かな人材の育成を目的として、平成3年度からほぼ毎年、10から20名の県内中学生・高校生及び専門学校生の発展途上国への派遣に寄与。

豊島 忍 氏 (満74歳/鹿児島市)

● 主な経歴

時 期	経 歴
平成22年 7月～令和元年 7月	鹿児島県公安委員会委員
平成23年 7月～平成24年 6月	鹿児島県公安委員会委員長
平成26年 7月～平成27年 6月	同上
平成29年 7月～平成30年 6月	同上
昭和55年 7月～昭和63年 6月	豊島病院副院長 (昭和57年10月～医療法人敬親会豊島病院)
昭和63年 7月～平成30年 6月	医療法人敬親会豊島病院理事長
平成30年 7月～現在	医療法人敬親会豊島病院理事長兼院長
昭和63年 4月～平成12年 3月	鹿児島市医師会代議員
平成22年 4月～現在	同上 (平成24年 4月～公益社団法人鹿児島市医師会)
平成10年 4月～現在	鹿児島県医師会代議員 (平成25年 4月～公益社団法人鹿児島県医師会)
平成14年 4月～平成22年 3月	鹿児島県医師会医療政策経営委員会委員
平成13年 4月～平成19年 3月	社団法人全日本病院協会鹿児島支部理事
平成19年 4月～平成27年 3月	社団法人全日本病院協会鹿児島支部常任理事 (平成25年 4月～公益社団法人全日本病院協会鹿児島支部)
平成27年 4月～現在	公益社団法人全日本病院協会鹿児島支部副支部長

● 主な受賞歴

時 期	受 賞 歴
令和 2年 4月	旭日小綬章 (警察管理運営功労)

● 主な功績

〈概要〉

- ・ 「医療法人敬親会豊島病院」理事長兼院長として医療に従事しながらにして、平成22年7月に、「鹿児島県公安委員会」委員に任命され、令和元年7月まで3期9年にわたり、鹿児島県警察の民主的管理及び政治的中立性の確保に尽力。
- ・ 平成23年7月から、平成26年7月から及び平成29年7月から各1年の3回3年にわたり委員長として本県公安委員会を先導し、本県の治安維持及び安心・安全な暮らしづくりに貢献。

〈個別〉

- ・ 公安委員に就任以来、各種警察活動を積極的に視察したほか、県下警察署協議会に出席の上、地域住民の代表である協議会員の意見・要望等を直接聴取し、当該意見・要望等については、公安委員会定例会の場に確実にフィードバックするなど、住民目線による警察管理に徹するとともに、県民の声を広く警察活動に反映。
- ・ 学校における児童・生徒の安全対策や少年非行問題など、公安委員会と教育委員会に共通する課題に対する両委員会合同の意見交換会を開催し、同課題に係る共通認識の醸成を図るとともに、今後の対策等を協議し、子どもの安全・安心の確保及び青少年の健全育成に尽力。
- ・ 子どもの安全・安心対策について、スクールサポーターの増員を強く訴えていたところ、平成29年度には5人が増員され、学校における児童・生徒の安全確保はもとより、非行・犯罪被害者防止教育の充実、少年の非行防止や立ち直りの支援、地域安全情報の把握及び提供が図られるなど、各般の取組の充実に寄与。
- ・ 警察学校における講義の際には、理事長兼院長を務める豊島病院が基本理念とする「SAFTY・SERVICE・SINCERTY」を引用して「奉仕の精神」の重要性を説き、社会に役立つ人材の育成に尽力。
- ・ 急増する高齢者の交通死亡事故を危惧し、公安委員就任当初から、県警察本部と「県医師会」等による「高齢者の交通事故防止に関する協定」の締結を関係各方面に働き掛け、平成22年度に実現。当該協定は、県下全域約3,800にも及ぶ医療機関を対象とする全国的にも画期的なものとなり、特に、豊島病院においては、来院する高齢者に対し、率先して交通安全の声掛け等を行うなど、その意識の向上に尽力。